



ルンドベック・ジャパン株式会社

東京都港区虎ノ門

Tel 070-7538-5301

E-mail yuok@lundbeck.com

四丁目1番17号 神谷町プライムプレイス

www.lundbeck.co.jp

Press Release

2022年2月16日

報道関係各位

本資料は、ルンドベック（デンマーク・コペンハーゲン）が2022年2月9日（現地時間）に海外向けに発表したものを日本語に翻訳したものであり、日本では未承認の製品が含まれます。資料の内容および解釈については英文オリジナルが優先されます。英文オリジナルは、[Strong operational performance with continued solid growth from strategic brands in Q4 2021 - H. Lundbeck A/S \(cision.com\)](https://www.cision.com)をご参照ください。

2021年第4四半期も戦略製品による堅実な成長を継続し、堅調な事業業績を達成

ハイライト

2021年の戦略製品の売上高は15%成長、合計93億デンマーククローネ（以下DKK）で、総収入の57%に達しました。2021年の総売上は163億DKK、独占期間の満了によるNorthera[®]のシェア低下と契約業務の減少の影響により、現地通貨ベースで5%減少しました。

EBITは前年比で1%増加し、20億DKKに達しました。コア1株当たりの純利益(コアEPS)は年間12.57DKKに達しました。

2022業績見通しとして下記を予想

- 売上高 167億～173億DKK
- コアEBIT 36億～40億DKK
- EBIT 22億～26億DKK

四半期ごとの業績発表に関連して、ルンドベックのプレジデント兼CEOであるデボラ・ダンサイアは次のように述べています。

「困難な一年であったにもかかわらず、このような結果を得ることができ、大変嬉しく思います。当社の戦略製品と多くの成熟ブランドの業績は、引き続き伸長しています。当社のポートフォリオに新たに加わったVyeptiは、上市した地域で引き続き良好な評価を得ており、本ブランドのグローバル化計画の中で、先月EUで承認され、大きな一歩を踏み出すことができました。当社は昨年、「成長のための拡大と投資」戦略を大きく前進させ、現在、非常に興味深い第Ⅱ相バイオ医薬品プロジェクトを2つ抱えています。また、本日発表しましたA株とB株による

新しい資本構成案は、長期的な戦略実行のための選択肢を広げることを目的としています。私たちには力強い未来が待っています。」

単位百万 DKK	2021 年	2020 年	成長率
コア売上高*	16,299	17,672	(8%)
コア EBIT*	3,517	4,436	(21%)
コア 1 株当たりの純利益*	12.57	18.92	(34%)
コア EBIT マージン*	21.6%	25.1%	-

調整前売上高	16,229	17,672	(8%)
調整前 EBIT	2,010	1,990	1%
調整前 1 株当たりの純利益	6.63	7.96	(17%)
調整前 EBIT マージン	12.3%	11.3%	

*「コア売上高(Core Revenue)」、「コア EBIT(Core EBIT)」、「コア EBIT マージン(Core EBIT margin)」および「コア 1 株当たりの純利益(Core EPS)」の定義については、別紙注 2「Core Reporting」を参照ください。

ポートフォリオにおける最新の製品である Vyepti[®]は、2020 年 4 月の発売以来、力強い成長を続けており、売上高は 2020 年の 9300 万 DKK に対し、2021 年は 4 億 9200 万 DKK に達しています。Vyepti[®]は EU で承認され、承認国合計は 39 カ国となりました。13 カ国で規制当局による審査が進行中であり、本年は 5 カ国程度の申請が予定されています。

コア EBIT は 35 億 DKK、コア EBIT マージンは 21.6%を達成。利益面では COVID-19 の影響によるコスト削減の恩恵を受けていますが、収益面では Northera[®]のシェア低下とリストラ費用 2 億 DKK のマイナスの影響を受けています。

ルンドベックは、片頭痛予防の新たな治療法として可能性のある Lu AG09222 の第 II 相 PoC 試験を開始しました。片頭痛治療の新しいアプローチとなる可能性があります。

取締役会は、1 株当たり 2.0DKK の配当を行うことを提案しており、配当性向は 30%になります。

別紙

2021 年フィナンシャルレポート詳細 <https://mb.cision.com/Main/18215/3501719/1532038.pdf>

<将来予測に関する記述>

本プレスリリースの将来予測に関する記述は、リスクおよび不確実な要素、予測が含まれます。実際の業績は、現在の予測とは大きく異なる場合があることをご了承ください。将来の業績に影響を与える要因には、金利および為替変動、開発プロジェクトの遅延または失敗、生産上の問題、予期せぬ契約違反または契約の終了、規制当局による強制的または市場誘導による製品の価格引き下げ、競合製品の参入、新製品および既存製品を成功裡に導くための企業能力、製造物責任およびその他の訴訟の発生、保険償還および法規制の変更および予期せぬ支出の増加などがあります。

< Lundbeck (H.Lundbeck A/S) について >

Lundbeckは精神・神経疾患に特化したグローバル製薬企業です。70年以上にわたり精神・神経科学研究の最前線に立ち、日々すべての人が最善の状態になれることを目指して、Lundbeckの存在意義である脳の健康を回復することに注力しています。

世界で推定7億人を超える人々が精神・神経疾患を抱えて暮らしています。そしてあまりにも多くの人々が適切な治療を受けていない、偏見にさらされている、勤務日数が減少する、早期退職をせざるをえないなどの状況に苦しんでいます。

私たちLundbeckは日々、精神・神経疾患を患っている人々の治療の向上と、より良い生活のために努力を惜しみません。その取り組みを「Progress in Mind」(プログレス・イン・マインド)と呼んでいます。

詳細については、<https://lundbeck.com/global/about-us/progress-in-mind> をご覧ください。

Lundbeckに関する詳しい情報は、www.lundbeck.com をご覧ください。

< Lundbeck・ジャパン について >

Lundbeck・ジャパンは、2001年に日本法人を設立、2019年にトリンテリックス®のコ・プロモーションのため、コマーシャル本部を構築し営業活動を開始いたしました。精神・神経疾患領域に特化した製薬企業として、グローバルで蓄積した豊富な知識と知見をもとに、日本においても患者さんの治療向上とより良い生活に貢献するために取り組んでいます。Lundbeck・ジャパンに関する詳しい情報は、www.lundbeck.co.jp をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

Lundbeck・ジャパン株式会社 コミュニケーション&パブリックアフェアーズ 岡 幸恵

Email: yuok@lundbeck.com Tel: 070-7538-5301 Fax: 03-5733-8691